



2023年11月29日

まちづくりネットモニターの
調査結果がまとまりました

① 「郡山市の上下水道」 ② 「ごみの減量」



ターゲット 16.6

郡山市政策開発部

広聴広報課

課長 鈴木 七子

TEL: 924-2068

SDGs ターゲット 16.6 「有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる」

2023年度まちづくりネットモニター（第7回・第10回調査）の調査結果をお知らせします。

○調査概要

第7回(8月2日(水)～11日(金))

テーマ	郡山市の上下水道
目的	本市の上下水道事業について、水道水、料金、施設整備状況等に関するニーズを把握し、効率的経営の実現及びお客様サービス向上等の参考とするため。
分析	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の放射性物質モニタリング検査継続を希望する … 85.8% 水道料金は「高い」「やや高い」 … 61.8% ※考察参照 洪水ハザードマップは知っているが内水ハザードマップは知らない … 36.7% 現状の「せせらぎこみち」を維持してほしい … 52.6%
考察	<p>安全な水道水が随時提供されることを望む声が高い中、水道料金の半分以上が水道施設の更新に使われていることの認知度は低かった。今後も安定的に安全な水を供給するためには、施設更新が重要であることをPRする必要がある。</p> <p>水道料金及び下水道使用料が高いとの回答が約6割であるため、金額の算定方法や料金の使い道、他の自治体との比較等についても周知が必要である。</p>
回答者数/率	346名（男性156名、女性190名） 87.2%
担当	上下水道局 経営管理課 渡辺 啓一 TEL: 932-7684

○調査概要

第10回(10月3日(火)～12日(木))

テーマ	ごみの減量
目的	2022年から様々な企業との新たな協奏により、ごみの減量や3Rを推進している中で、さらなるごみの減量や資源の有効利用を図るための今後の基礎資料とするため。
分析	<ul style="list-style-type: none"> 1人1日あたりのごみ量が中核市ワーストであることの認知度 … 61.5% 買い物の際マイバッグ等を持参し、レジ袋を辞退している … 91.5% ごみの有料化は行わず、周知啓発等のごみ減量に取り組むべき … 48.4% 事業系ごみの手数料を「上げるべき」「大幅に上げるべき」 … 57.2%



2024（令和6）年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま

考察	<p>プラスチック製容器包装、紙類、ペットボトル、びん・缶の順で、資源物の適切な排出が行われておらず、対策の検討が必要である。</p> <p>家庭系ごみの有料化には、半数近くの否定的な意見があったが、事業系ごみの手数料値上げについては約6割が肯定的な意見であった。有料化・値上げにはこれらの意見を精査しながら検討していく必要がある。</p>
回答者数/率	353名（男性159名、女性194名） 88.9%
担当	環境部 3R推進課 大内 健志 TEL：924-2188



ウェブサイトに
アクセスできます。

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/23/4141.html>

<まちづくりネットモニター>

郡山市では、市民の皆さまの意見等をお聞きする取組みとして、様々な機会や方法等により実施しており、その一つとして、市民モニターの方々に御協力いただきインターネットを活用した市政アンケートを実施しています。

(モニター数：397名(男性172名、女性225名))

今回は、2023年度第7回・第10回の調査となります。